

## 第1回 ソーシャルデザインセンターの開設に向けた打ち合わせ結果概要

- 1 日 時 平成31年3月3日(日) 午後2時から午後4時30分
- 2 会 場 多摩区役所10階1002会議室
- 3 出席者 23人(内区役所職員3名含む)
- 4 資 料 別添のとおり
- 5 出席者の主な意見

### 【検討の進め方について】

- まちの広場やソーシャルデザインセンターに対する共通認識ができていないと思う。
  - アプローチの仕方は2つあるのではないか。一つは認識を共通化させてから取り組む方法、もう一つはとりあえず、それぞれの中で思っている内容をぶつけ合って、ソーシャルデザインとしての共通基盤をつくっていくというもの。
  - コミュニティ施策の進め方について、打ち合わせの参加者間で共有できていない。
  - 本日の参加者についても、なぜコアメンバーなのかよく分からない。
  - ソーシャルデザインセンターについては、行政ではなく、住民の皆さんでやって欲しいということを、本当は言いたいけど言えないんだと思う。
  - 多摩区をどうやっていくのかな、という方が楽しいと思っていて、そのためにはどういうふうに落とし込んでいくのかなと。
  - これからのコミュニティ施策の基本的考え方には、ソーシャルデザインセンターとは何か、どんな機能が必要かというのは書いてある。これからまた考えましょうなんてことはやめてほしい。
  - 基本的考え方について、基礎学習をすることがスタートラインなのではないか。
  - 民生委員、地域教育会議、町連などの各種団体とも、早いうちからしっかりと情報共有をしてほしい。
  - 新しいことをやろうというときに、前に作った組織から組織代表みたいな形では物事が進まない。
  - 今日は話の方向性を決める必要がある。スモールスタートでやっていくか、そうではなく、時間かけてでも土台づくりをしっかりとやって行くかの2つ。
  - 並行してやって行けば良い。
  - スモールスタートもいいとは思いますが、ベストではない。
  - 木を見て森を見ずという言葉もあるとおり、視点というのは双方からが大事。
- ◎ 次回以降は、スモールスタートとして具体的な取組も検討しつつ、理念的なところもしっかりと共有するための内容も含めて検討を進めていく。

【打ち合わせ会議の位置付けについて】

- この会議はヒアリングだけか、それとも何かしらのアウトプット、会議として結果を出すものなのか。
- 今日何か方向性が決まったとしても、次回、また興味がある人が入ってきたときに、ひっくり返されてしまう可能性があるのではないか。
- この会議の位置づけがよく分からない。私たちが何か決めた時に責任はあるのか。
- コアメンバーの役割をみんなで確認してほしい。

【検討スケジュールについて】

- 場所を先に提示されてしまうとスケジュールありき、場所ありきと聞こえてしまう。どんどん進んでいく方向になってしまうのではないか。
- せきれい跡地の利用を希望するとして、いつまでにこの会で結論を出している必要があるのか。

— 次回以降の打ち合わせの日時等について —

- 次回打ち合わせ日時については、参加者の都合が付きやすい曜日、時間の確認を行ったところ、平日の夜間が6人、日曜日の日中が7人と、多数となったことから、この中で、区において次回打ち合わせ日時を選定し、お知らせすることとなった。  
⇒ 次回打ち合わせは、平成31年3月24日（日）午後2時30分から午後4時30分（予定）として、周知を行う。